

【介護事業所交流会運営委員会】

開催日 : 平成 30 年 4 月 13 日 (金) 20 : 30 ~

開催場所 : 高田馬場 (カフェミヤマ)

出席者 : 五島先生、佐藤修、梅澤、前山、清水、堀尾、加賀美

司会 : 佐藤修

- 何かあるだろうということで、この会を立ち上げた。忌憚のない意見を。
- 事業所交流会 → OB 会の名前を作ろう。
 - ケアオフィスミーティング COM・・・検討中
 - コムコム
 - コムネット・・・菊地さん！
 - ヌーベル・クリエーション (創造) は
- 実際に何ができるのか。大雑把にでもあれば、今日は OK
 - 交流会がある → OB 会があるという流れ
 - 集まった人でなにができるか
 - メーリングリストが出来たので、それに送信していければ
 - なかなか相談できなかったことも相談できる場所づくりをしたい。by 佐藤社長。同じようなことをやっている、これからやろうとしていることを語りあうことができることができれば。⇒ 梅澤さんは？すでにコミュニティはあるので、きっとネットワークがあるだろうな・・・アンテナがある人たち。⇒ 誰に対してということと一緒に考えていけるのが良いか。⇒ たとえば事業所が 100 あったとして、アンテナがあってつながっていく人たち、動けるが、時としては動けないので、地域から広げられない人たち。どこにアプローチをかけたら良いかわからない人たち。アンテナを張っている人は 100 人中何人？20%くらい ⇒ 60%の人たちが 20%に入れるようにするにはどうするか。⇒ また来たくなるのは、何があると良いか？
 - 事業をやるうえで新しいことをやっていると伸びていかない。⇒ その材料となるもの、他での取り組みを聞けるのが良い。それを自社でできるかできないかを検討できる材料があるのが良い。⇒ それがメリットになれば、この会の構成は良い。
 - 上位 20%の人たちになるためのカテゴリーは何だろうか？⇒ 投資家を紹介する？
 - 例えば、課題を共有し合う会。相手を誰にするかにもよるが、経営者か、事業所長なのか、その参加する人によって違うが。ざっくりばらんに共有し合う。そこで課題となることを共有し合う。そして、解決策を講じ合うのは？
 - 1つの項目でプレゼンテーションする、飲み会をするのは出来る。
 - 事業所が、OB 会として集まって失敗例や成功例を共有するのは。
 - お互いの会社を訪問し合うのは？なかなかないこと。そういうことができると、直接やっているとところを見ることができれば良い刺激になる。

- OB 会に入る時点で、あなたの会社の特徴や見学をすることができるなど、登録する時点で教えてもらうことができれば、良いのでは。
- 梅澤さんはいろんな資料が出てきてとても参考になる。ナマの声は大きい。本では良くわからないことが良くわかる。
- 個人でつながるのも良い。その仕組みが作ればよい。
- 江戸川区で良い人を紹介してやろうということをやっている。20%のメンバーが集まる→地域の面白いことをやっている人たちがくる→経営者であればいろんな事情を知っている。会は多いが、企画の中で、その場所がかわっていく、その取組を 30 分ずつプレゼンする。その仲間で交流を深める。
- 食べるデイみたいに、その事業所でミーティングをするのも良い。※前回の事業所交流会は 12 事業所。「今度、江戸川区に行こう！」
- 1 年くらいやっていると、いろんなことに気付いていくと思う。⇒発展性があるって良い。
- 介護ハボワットとすることが多く、経営だったらゴリゴリ経営のことをやる→みんなで利益を出し合うための会が介護にはない。今日は、それをやる日！とか、今日は、介護予防って何？みたいなことでの分科会があるとか、鋭角にやるのが重要なのではないか。
- 介護事業所交流会、10 数人いるので、第 2 回交流会があるので、面子がある会というように広げていくのが良いかもしれない。OB 会に引っ張るということより。
- 今、交流会ではなく、OB 会は OB 会だが、この会に地元の人を呼べそうな人はいる？⇒一般事業所の人（所長とか？）・・・セグメントしていくべき。⇒発言権のある人、行動に移せる人。そういう思いのある人を呼ばないと義務的に終わってしまう。
- 前回の人が、「この人は！」と思う人を連れてくる方が広がる。・・・飛び込みで入ってくる人は、よほど勇気がある人。
- 江戸川区は紹介でやっているメリットは、その人の面倒をみていくということで、その人が孤立しない環境づくりができています。⇒紹介者制 ⇒ハードルをつくって、こういう人でないと、この会には入れないという形を作る。⇒呼ぶ側としては、緊張感を持って。
- 何かの企画で目的をもって集まってやるのが人をまとめやすい。⇒梅澤さんの江戸川区の WG の例。
- 社員教育に悩んでいるのではないか？みんながもっている課題で、自分の会社の教育係で集まるというのも面白い。
- まずこの 1 年は人が集まるというのをたくさんあった方が人は集まる。
- 3 か月ペースで会の開催をしていきたい。ただ楽しいだけではこの会には来ない。
- 人を採用する、教育、離職（を少なくする）は、どこも共通する課題。
- 人材育成、離職を減らすということをテーマにして話を聞いて、ディスカッションをするのはいいかも。⇒スペースは東京在宅サービスくらいの広さで。
- 何のテーマでやれば一番食らいつきやすいか？⇒
- 一番困っているのは何か⇒
- 採用はどうやっている？⇒人材紹介、ネット・・・人の入れ替えが激しいので・・・。

- 「辞めない会社づくり」というのは？ ⇒インパクトある！
- 元気な会社づくり、人材育成
- 継続的に参加できるものとして、課題を出して、現場で実践し、その結果を共有し合うという流ができれば、単発では終わらないだろう。⇒
- 事業所単位レベルでやるのも良いのかもしれない。⇒人間関係、働きづらさとかで離職してしまうことが多い。⇒会社自体がヒントをもらって、会社の上司や代表者に伝えて、こういうのを自社でも取り入れませんかという流れをつくる→他者を見学させてもらうとかの流れもある
- 他者のプレゼンがあると良い。自社の人だと説得力がない。「また言っている」ということになってしまう。
- 方向性は、みんなが同じ課題をもってやる
- 場所はどこが良いのか、また具体的に考えていきましょう。
- 15 年前の医療業界が、今の介護業界に似ている。⇒IT 化とか。IT で楽になれば。でいぐにていの吉田さんが取り組んでいる。⇒今度、講師？！→IT の何かソフトを作っているようだ。
- 今ある人材でどうやって強い会社を作るか。
- 会社の教育は誰がやる？
- 人が育つ組織づくりということで。終日、参加型でやった。8時半から5時半までやった。ネガティブな意見を出さない。⇒理念浸透、介護観を話してもらい、拍手。⇒所長が部下に伝えなといけない。⇒所長にプレゼンしてもらおう。人前で話せるようにしないとけない。⇒その演習をやってもらおう。所長と副所長と交互にやってもらおう。⇒所長も副所長も同じ思いになってもらう。⇒この話を聞きたい！こういう具体例。数字の出し方→これを聞こう！（前山さんの話）⇒着地予測を出す。月の予想の稼働率を。⇒共有しよう！→ヒントになる！→こういうことだ！…内容は決まり！
- いろいろ意見を聞きたい。アドバイスを教えてほしい。By 前山さん

次回日程

開催日 : 2018 年 5 月 18 日 (金) 19 時 00 分～

開催場所 : 未定